

「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

地域と学校の連携・協働体制構築事業の取組事例

「コミュニティ・スクールの推進に向けた取組」(宮城県石巻市)

取組の概要や経緯

石巻市では、石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、石巻市全体のコミュニティ・スクールに対する理解の周知や各学校運営協議会間の情報共有等を行っている。石巻市コミュニティ・スクール推進フォーラムもその一環として行っている。

内容

- 1 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会
石巻市におけるコミュニティ・スクールの推進を図り、学校間、地域間の連携、協働体制を構築する。「あらためて考えよう コミュニティ・スクールとは」と題し、文部科学省CSマイスター 今泉良正氏を講師に招いてコミュニティ・スクールについての理解を深めた。
- 2 先進地視察 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員が、宮城県七ヶ宿町教育委員会を訪問し、学校運営協議会の取組について研鑽を深めた。
- 3 CS推進フォーラムの開催 国立教育政策研究所総括研究官 志々田まなみ氏を講師に招き、学校運営協議会委員や地域住民、教職員111名が集まり、石巻市推進フォーラムを開催した。
- 4 石巻市HPに「すくすくコミスクだより」を掲載し、取組についての情報を発信した。

ポイント

- ① 石巻市全体のコミュニティ・スクールを推進するため、年4回石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会の充実を図る。
- ② 石巻市独自でのコミュニティ・スクール推進フォーラムを実施し、教職員や地域住民等へのコミュニティ・スクールに対する理解を促進する。

成果

- ・今年度18校がコミュニティ・スクールを導入し、小・中・高校の合計50校に導入することができた。
- ・学校運営協議会では、各学校運営協議会において小グループでの話し合いが行われ、当事者意識が感じられる発言が増えた。

	コミュニティ・スクール導入校推移					
	小学校	中学校	高校	合計	累計	導入率(%)
R2	1	1	0	2	2	3.8
R3	5	4	0	9	11	21.6
R4	5	3	0	8	19	37.3
R5	8	5	0	13	32	65.3
R6	13	4	1	18	50	94.3

今後の方向性

- ・各学校運営協議会の会議・活動内容等を保護者、地域住民等に周知する。
- ・学校運営協議会の役割の理解を図るとともに、熟議を取り入れた会議を行い、子供や地域住民等の意見も取り入れた、地域とともにある学校づくりを推進していく。



「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

地域と学校の連携・協働体制構築事業の取組事例

「コミュニティ・スクール」(宮城県多賀城市)

取組の概要や経緯

令和3年度から学校運営協議会の設置に向けて準備を重ねており、令和4年度から本市の先進校2校に学校運営協議会準備会を設置し、令和5年度からの学校運営協議会設置、令和6年度からは市内全校への運営協議会設置のうえ学校・家庭・地域の連携による開かれた学校運営を目指している。

内容

【学校運営協議会】

- ・設置校 市内小中学校全校
- ・委員 地域の代表、児童生徒の保護者代表、教職員の代表者等 15名以内
- ・活動内容 学校運営に関する内容を熟議し、各校とも3～4回程度実施

ポイント

- ①学校課題と地域課題をマッチングする取組
- ②地域学校協働本部との連携
- ③地域の特性を活かした学校経営を目指す
- ④学校内にある様々な組織、会議体等の見直しを図る

成果

【子供にとって】

- 子供たちの学びや体験活動が充実しました。(公園清掃・田植え・稲刈り)
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちました。(わたってぺこり)
- 防犯、防災の対策によってより安心安全になりました。(防災マップ作成)

【地域にとって】

- 学校中心とした地域ネットワークが形成されました。

今後の方向性

- ・こども達が地域の担い手としての自覚がより高まることを目指します。
- ・家庭にとって、地域で子供たちを育てられているという安心感が生まれる状態に目指します。